

# 災害から 身を守るために

9月1日は防災の日です。

いざというとき、

自分や家族の身を守るには

どうしたらよいか。

今一度、考えてみましょう。

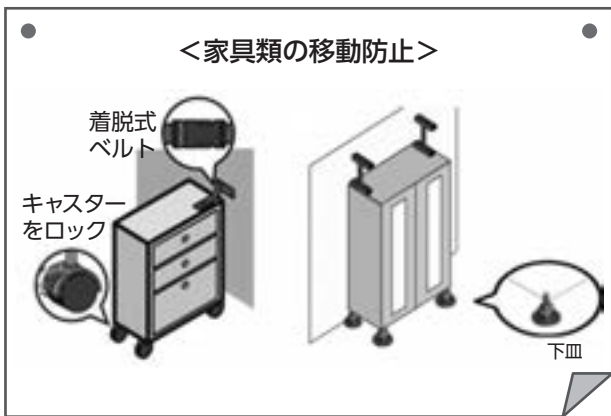
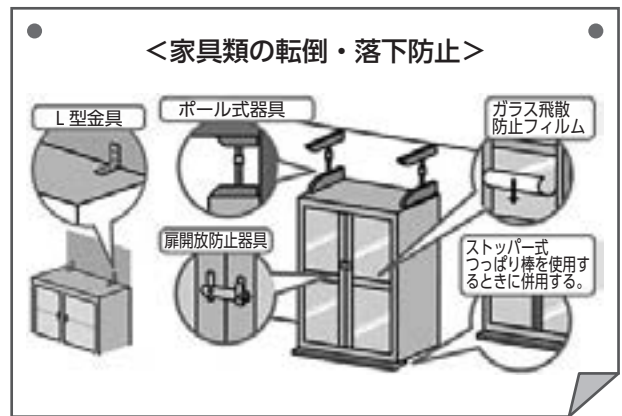


## 地震から身を守る

近年、国内では大規模な地震が頻繁に発生している、地震で負傷した方のうち家具類の転倒・落下・移動による負傷は3〜5割にもなります。また、家具類の転倒などは、出入口をふさぐ避難障害になったり、ストーブを倒して出火の原因になるなどの二次的な被害も引き起こします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を行うことで死傷者を減らすことができます。とともに、地震後の出火防止や地域での救出・救護活動でも大きな効果が期待できます。

さらにこの対策は、地震が発生したときに自分を守る「自助」だけでなく、救出救助などの「共助」として、家族や近隣住民の助け合いにつながる重要な対策です。

地震はいつ起きるかわかりません。次のことを参考にして、早めに対策をとりましょう。



伊達消防署警防課救助係  
☎23-5119

## 大雨から命を守る

胆振・日高地方の8月と9月は降水量が多く、大雨に留意が必要な時期です。平成26年に発令された北海道初の大雨特別警報も9月の出来事でした。

大雨に対しては、普段から生活している地域の危険箇所や避難場所をハザードマップで確認しておきましょう。



総務課危機管理室(市役所2階)に備え置いてあります

実際に雨が降ってきたら、气象台から段階的に出される注意報や警報などで、雨の降り方などの情報収集や避難の準備を行い、市から出される避難勧告・指示に従うことはもちろん、自分で危ないと思ったときには建物の2階に上がるなど、自主的に安全な場所へ避難し、自分や家族の命を守るため、最善の行動をとってください。

実際に雨が降ってきたら、气象台から段階的に出される注意報や警報などで、雨の降り方などの情報収集や避難の準備を行い、市から出される避難勧告・指示に従うことはもちろん、自分で危ないと思ったときには建物の2階に上がるなど、自主的に安全な場所へ避難し、自分や家族の命を守るため、最善の行動をとってください。



室蘭地方气象台  
☎0143-2214249

## 自主防災組織の活動への助成

総務課危機管理室  
(市役所2階 ☎23-3331 内線465)

市では、「自主防災組織」が行う活動に助成し、自主防災組織の結成を推進しています。

### 対象

自治会(複数の自治会が連合した場合も含む)、連合自治会

### 対象事業

防災に関する訓練・教育・啓発、防災資機材の購入など

### 助成金額など

- 基礎額 組織内加入世帯数で計算(1~6万円)

- 世帯数割額 組織内加入世帯数×200円

※助成を受けるには、一定の基準がありますので、まずは担当にお問い合わせください